記者発表資料

平成２０年１１月１７日
東 北 地 方 整 備 局

平成２０年度第１回新技術活用評価会議を開催します
～事前審査１件、試行計画２件を審議～

国土交通省では、技術開発の促進及び新技術を公共工事で積極的に導入していくため、平成１８年８月より、「公共工事等における新技術活用システム」を本格運用しています。

これに基づき、各地方整備局等において、新技術の審査・評価等を行うため、新技術活用評価会議を設置しています。

東北地方整備局では、１１月１９日に「平成２０年度第１回新技術活用評価会議」を開催します。

今回は、事前審査※1１件、試行計画※2２件を審議します。

※１．事前審査：新技術試行の前に「直轄現場における試行の可否」を審査
※２．試行計画：新技術試行にあたり、申請情報の妥当性を確認する為の調査計画

【開催概要】

日　　時：平成２０年１１月１９日（水）　１４：００～１６：００
場　　所：二日町東急ビル　４階会議室（仙台市青葉区二日町16-1）
取　　材：当日の取材は、頭取り（会議冒頭の写真等の撮影のみ）となりますので予めご了承願います。
　　なお、各技術の評価結果は、後日記者発表（投げ込み）する予定です。
審議案件：１．事前審査　（１）技術名称：サンプラスター工法
　　２．試行計画　（１）技術名称：リンクプレート
　　（２）技術名称：マッドクリーン
　　(ペーパースラッジ系中性土壌固化剤)

※各技術の概要は、資料－１参照。
※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム［NETIS］で提供しています。
　NETISアドレス：*http://www.mlit.go.jp/netis/*
※東北地方整備局新技術活用評価会議の設置要領及び委員名簿は、参考資料－１，２参照。

＜発表先：東北専門記者会＞

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区二日町9-15　　電話　022(225)2171(代)

企画部　施工企画課長　　小松　　寿（内線３４５１）
　　施工企画課長補佐　　川津　孝徳（内線３４５２）

資料－1

平成２０年度第１回新技術活用評価会議_審議案件　技術概要一覧

審議区分	技術名称	NETIS 登録番号	NETIS申請者 (技術開発者)	技術概要 (NETISより抜粋)	
				技術分類	何について何をする技術なのか?
事前審査	サンプラスター工法	KT-070082-A	みらい建設工業 株式会社	土工 安定処理工	建設工事等で発生する泥土について、石こう系特殊添加材を脱水促進材として混合し天日乾燥することにより、減容化を図ると共に締固め可能な第2種発生土から第4種発生土に改質する技術
試行計画	リンクプレート	KT-060068-V	日進建機 株式会社	仮設工 仮設材設置撤去工	敷鉄板を金具(リンクプレート)で堅結する技術
試行計画	マッドクリーン (ペーパースラッジ系中性土壌固化剤)	KT-060032-V	ベストウエイ 株式会社	土工 路床改良工	土質改良剤、土壌安定剤、土壌固化材(土壌固化剤)

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム［NETIS］で提供しています。
NETISアドレス：http://www.mlit.go.jp/netis/

参考資料－１

「東北地方整備局 新技術活用評価会議」設置要領

（目　的）
第１条　東北地方整備局における公共工事への技術活用の促進を図るため、技術開発・活用・普及のあり方及び技術募集にあたっての進め方について広く助言を戴くとともに「公共工事等における新技術活用システム」（以下「新技術活用システム」という）における新技術の評価を戴くことを目的として、東北地方整備局新技術活用評価会議（以下「評価会議」という）を設置するものである。

（委　員）
第２条　評価会議は座長及び委員をもって構成するものとし、委員は常任委員及び非常任委員からなるものとし、別紙のとおりとする。
２　委員は有識者等のうちから東北地方整備局長が委嘱する。
３　委員の委嘱期間は２年以内とし、再任は妨げない。

（座　長）
第３条　評価会議に座長を置き、委員の互選によりこれを定める。
２　座長は、評価会議を代表し、会務を総理する。
３　座長に事故のあるときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（評価会議の事務）
第４条　評価会議は、以下の各事項について審議し、助言・提言・評価を行うものとする。
①新技術の事前審査
②現場ニーズに応じた技術の募集及び選定
③新技術の活用等の事後評価
④活用促進技術の選定
⑤新技術の試行計画の策定
⑥その他新技術活用システムの運用に関すること

（運　営）
第５条　評価会議の招集は、東北地方整備局長の要請を受けて座長が行う。
２　評価会議には、必要に応じて非常任委員が参加できる。
３　評価会議は、年４回開催するものとする。
４　座長は、必要に応じて、臨時評価会議を開催できるものする。
５　評価会議の庶務は、企画部施工企画課、港湾空港部海洋環境・技術課、東北技術事務所及び仙台港湾空港技術調査事務所において処理する。

（雑　則）
第６条　この要領に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、座長がこれを定める。

附　則　本設置要領は、平成１３年　９月２８日より施行する。

附　則　本設置要領は、平成１６年１１月２２日より施行する。

附　則　１．本設置要領は、平成１７年　７月２８日より施行する。
２．従来の技術活用委員会は廃止する。

附　則　１．本設置要領は、平成１８年　９月２９日より施行する。
２．従来の新技術活用委員会は廃止する。

参考資料－2

東北地方整備局新技術活用評価会議　委員名簿

常任･非常任別	氏　名	所　属　・　役　職	備　考
常任委員	遠藤　孝夫	東北学院大学 工学部 環境土木工学科・教授	
	風間　基樹	東北大学大学院 工学研究科・教授	
	京谷　孝史	東北大学大学院 工学研究科・教授	
	鈴木　基行	東北大学大学院　工学研究科・教授	
	高橋　　弘	東北大学大学院 環境科学研究科・教授	
	前田　直己	東経連事業化センター　産学マッチング委員会･委員	
	村井　貞規	東北工業大学 建設システム工学科・教授	
	元田　良孝	岩手県立大学 総合政策学部・教授	
	中村　敏一	㈱土木研究所　水環境研究グループ 長	
	平石　哲也	㈱港湾空港技術研究所　海洋･水工部長	
	戸谷　有一	東北地方整備局　企画部長	
	林崎　吉克	東北地方整備局　東北技術事務所長	
非常任委員	岡田　光彦	東北地方整備局長	
	河﨑　和明	東北地方整備局　副局長	
	後藤　隆之	東北地方整備局　副局長	
	田上　澄雄	東北地方整備局　河川部長	
	三浦　真紀	東北地方整備局　道路部長	
	山本　浩	東北地方整備局　港湾空港部長	
	磯部　正	東北地方整備局　営繕部長	
	大里 睦男	東北地方整備局　仙台港湾空港技術調査事務所長	

（敬称略、産学委員は五十音順）